

科目名	教育コーディネーション特論	担当教員	吉村 春美
科目属性	専門科目 B	単位数	2単位 (面接 0.5 単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>民主化、グローバル化、災害等、変革の時代・危機の時代である 21 世紀において、子どもたちが共に生き抜くために、「喰いもの」にされない資質能力を身につけ、信頼と民主主義を基盤とする公正で自由、かつ平和で持続可能な「共生社会」に変革するために、教員を中心に、行政官、保護者、地域住民(「教育サポーター」、自営業者・企業人、オルタナティブスクール・NPO 等のソーシャル・アントレプレナー)等、さまざまなアクター(それらの志望者を含めて)が、学級間、学年間、特に学校内外の連携・協働体制をどのように構築するか(どのように教育をコーディネーションするか)を探究する。また、教育コーディネーターとしての必要な「信頼(信用性)」を中核とするさまざまな資質能力(意識・知識・スキル)を身につける。</p> <p>市民の一人一人が「共生社会」を構築するために、シティズンシップや社会人基礎力、「生きる力」等のキー・コンピテンシー(資質能力)を持つ・行使できる「市民」(教育コーディネーター)が教育をコーディネーションし、キー・コンピテンシー(資質能力)を持つ・行使できる「市民」を育てることが本講の目的である。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の 5 つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現代の教育課題を認識する ② 教育コーディネーションの実例を認識する ③ 教育コーディネーションの理論を理解し、探究する ④ 教育コーディネーションの実践方法を習得し、探究する ⑤ 教育コーディネーターとしての資質能力の向上を図る 			
<p>【授業計画】</p> <p>1. 教育コーディネーション事例の調査 (第 1 回～第 3 回相当)</p> <p>学習者の志向(問題意識、職種、希望進路、学部における学修の状況等も含め)に沿って、PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)の手法を用いて、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① テキスト、参考文献を中心に教育コーディネーションの実例を学ぶ ② 現代的教育課題を発掘する ③ 研究の計画立案をおこなう <p>2. 教育コーディネーションの理論 (第 4 回～第 10 回相当)</p> <p>共生の視点をもって、教育コーディネーションの理論と教育コーディネーターとしての必要な資質能力(意識・知識・スキル)を探究する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① パットナムの『孤独なボウリング—米国コミュニティの崩壊と再生』についての検討 ② ハーバーマスの「コミュニケーション的行為」についての検討 ③ 「ソーシャル・キャピタル」の「関係的信頼」についての検討 (1) ④ 「ソーシャル・キャピタル」の「関係的信頼」についての検討 (2) ⑤ OECD の「Key Competencies」についての検討 (1) ⑥ OECD の「Key Competencies」についての検討 (2) ⑦ 教育職員養成審議会「新たな時代に向けた教員養成の改善方策について (第一次答申)」の「教 			

員に求められる資質能力（特に「今後特に求められる資質能力」）について検討をする

3. 教育コーディネーション事例の研究（第11回～第15回相当）

PBLの手法を用いて、キャリア教育、シティズンシップ教育、法教育、持続可能教育等において、学校と他のセクター・アクターが実際に連携・協働している事例をフィールド・ワークし、ネットワークの構築、プログラムの作成・実施等の各フェイズを共生の視点から分析することによって、コーディネート機能の研究と教育コーディネーターとしての必要な資質能力（意識・知識・スキル）を身につける。

- ① 事例を題材にした課題研究（1）
- ② 事例を題材にした課題研究（2）
- ③ 事例を題材にした課題研究（3）
- ④ 事例を題材にした課題研究（4）
- ⑥ 授業の総括（共生的視点からの展望）

【評価方法】

「スクーリング評価」「レポート評価」および「科目修得試験」を総合し、学習者自身による「自己評価」及び学習者相互による「他者評価も」参考にする。

【教科書】

- ① 【理論】 ジョン・フィールド(著)、矢野裕俊(訳) 『ソーシャル・キャピタルと生涯教育』（東信堂、2011）(ISBN 9784798900414)
- ② 【政策】 文部科学省「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(中間まとめ)」(平成27年7月16日、中央教育審議会初等中等教育分科会 チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会)文部科学省のHPからダウンロード
- ③ 【事例】 経済産業省『平成19年度産業競争力強化人材育成事業委託費「キャリア教育のコーディネート機能等に関する調査」報告書』（担当教員執筆）経済産業省のHPからダウンロード

【参考図書】

中岡成文『ハーバーマス（現代思想の冒険者たち Select）』講談社

（ISBN 9784062743556）

ジェームズ・ゴードン・フィンリースン（著）、村岡 晋一（翻訳）『ハーバーマス（〈1冊でわかる〉シリーズ）』岩波書店

（ISBN 9784000268929）

稲葉 陽二『ソーシャル・キャピタル入門- 孤立から絆へ』中公新書

（ISBN 9784121021380）